

2025 年度聖学院大学大学院

心理福祉学研究科
秋期入学試験問題

[心理福祉学研究科]
修士課程

社会福祉学/心理学論述試験
(60分)

<注意事項>

- ① 監督者の指示があるまで、この問題用紙を開かないで下さい。
- ② 監督者の指示により、解答を止めて下さい。
- ③ 試験終了後、問題用紙と解答用紙を回収します。
- ④ 机の上には、受験票・筆記用具のみを置いて下さい。
- ⑤ 質問等がある場合は、静かに挙手して監督者を待って下さい。

受験 番号		氏 名	
----------	--	-----	--

同封の小論文テーマから社会福祉学と心理学いずれかの分野を選択して論じなさい。

・社会福祉学の問題は1問選択し解答用紙に1200字以内で論じなさい。

なお、解答用紙に選択した問題番号を記入しなさい。

(例： [社会福祉学] 番号 [①])

・心理学の問題はすべての設問について論じなさい。

【社会福祉学】

★以下の用語の中から1つを選び、説明しなさい。

- ① セルフヘルプグループ
- ② 地域包括支援センター
- ③ 発達障害児への支援

聖学院大学大学院 心理福祉学研究科

入学試験問題解答例等

入試実施年度	問題番号	試験科目名
2025 秋期 (24 年度実施)	MSSW-025	心理福祉学研究科修士課程専門科目 ・心理福祉学コース 社会福祉学

・入試問題解答例等記入欄

【設問】

★ 以下の用語の中から 1 つを選び、説明しなさい。

- ① セルフヘルプグループ
- ② 地域包括支援センター
- ③ 発達障害児への支援

【出題意図】（論述式）

社会福祉学の領域をこれまで学び、大学院でさらに研究を深めようとしている受験生であれば、自分自身の専門領域がどのようなものであっても、3 つ挙げた用語の中から 1 つに関しては、基本的な知識として十分に論述が展開できる用語を設定した。

論述内容から、基本的な事項についての正確な知識と自分なりの考察に関して評価することを意図した。

【解答例】（論述式）

①セルフヘルプグループ

採点にあたってのポイントは、セルフヘルプグループに関して、この援助方法の発祥、その構成要件と現代でのバリエーション、効果と運営上の留意点について言及されているかについて勘案した。

②地域包括支援センター

採点にあたってのポイントは、地域包括センターの基本的な構成と対象となる利用者、配置されている職員について、正確な記述がされているか、実際の運営に関する課題点について、利用者の視点にたった考察がなされているかについて勘案した。

③発達障害児への支援

採点にあたってのポイントは、発達障害に関する定義と種類について基本的な事項が

正確に記述されているか、発達障害と知的障害との関係、発達障害児への現代の支援サービスについて複数記述されているか、発達障害児への実際の支援に関し、具体的な支援方法が複数記述されているか、発達障害児がおかれている現状の課題点について、子どもと保護者の視点にたった考察がなされているかについて勘案した。

【心理福祉学心理学・公認心理師】

1. 「統合失調症」について、その原因、症状及び治療方法についてふれながら説明しなさい。

2. 次の事柄について説明しなさい。
 - ① ワーキングメモリ
 - ② テスト理論
 - ③ アタッチメント

聖学院大学大学院 心理福祉学研究科修士課程
入学試験問題解答例等

入試実施年度	問題番号	試験科目名
2025 秋期 (24 年度実施)	MSPL-001	心理福祉学研究科修士課程専門科目 ・心理福祉学コース 心理学 ・公認心理師コース 心理学

・入試問題解答例等

【設問】

1. 「統合失調症」について、その原因、症状及び治療方法についてふれながら説明しなさい。
2. 次の事柄について説明しなさい。
 - ① ワーキングメモリ
 - ② テスト理論
 - ③ アタッチメント

【出題意図】（論述式）

公認心理師養成課程において心理学に関する研究や実践を遂行するにあたり、必要となる知識の有無を確認するために、基本的な用語を説明できる力を確認することを意図している。

【採点時の評価のポイント】（論述式）

1. 統合失調症に関する説明として、原因、症状、治療方法の三要素にバランスよく言及しているかどうかを評価した。加えて、専門用語を正しく用い、内容が簡潔かつ論理的に整理されているかも確認した。
2.
 - ① ワーキングメモリの概念について、定義を正確に示し、その構成要素や機能に言及しているかを評価した。加えて、心理学的意義や認知過程との関連を簡潔に整理できているかを確認した。
 - ② テスト理論の基本的枠組みについて、古典的テスト理論と項目反応理論の特徴や違いに触れているかを評価した。さらに、信頼性・妥当性など主要な概念を正しく説明し、心理測定における意義を論理的に整理できているかを確認した。

③アタッチメント理論の基本的な考え方について、定義を明確に示し、主要なタイプや発達の意義に言及しているかを評価した。加えて、理論の背景や心理臨床への応用に触れているかを確認した。